

平成28年度北毛地区小学校体育科授業研究会レポート

○日時：11月18日(金)

○会場：東吾妻町立原町小学校

○単元名：ボール運動 ゴール型

○指導者：黒岩 功太教諭(6年)

今年度の北毛地区小学校体育科授業研究会は、東吾妻町立原町小学校の黒岩 功太先生が授業提供してくださいました。今回取り上げたタグラグビーは、ゴール型のボール運動であり、児童一人一人がチームの一員として役割を持ち、協力しながらプレーすることの楽しさを十分に味わうことのできる授業でした。



ドリルゲーム (円陣パス)

互いに声を掛け合いつつ、素早く正確なボール操作を心掛けています。遅れたチームには周囲から自然に応援の声が掛かっていました。



ドリルゲーム (タグ取り鬼)

タグを取り合う鬼ごっこです。男女区別なく時間内を通して機敏な動きをしていました。かなりの運動量でした。



メインゲーム1

前時に立てた作戦を確認しゲームを行います。男女・運動能力に関わらず、一人一人が積極的にプレーに参加し、4分間ぎりぎりまで走り続けていました。すごい運動量です。



ミーティング1・チーム課題練習

作戦板・学習カードを使いメインゲーム1での作戦を振り返り、チームの特色、相手の分析を生かした動きの確認をしています。



メインゲーム2

チームの作戦や課題練習を生かしてメインゲーム2を行います。4分間×2ゲームの合間に作戦タイムを取り作戦や動きの確認と修正を行います。作戦に基づいて一人一人の役割を意識して動こうとしていました。作戦が決まったチーム、やられたチームとも声を掛け合って、よく動いていました。セルフジャッジでもスムーズなゲームでした。



作戦タイムでは見学者もチームに貢献



ミーティング2

メインゲーム2を受けてミーティング2で振り返りを行い、作戦や練習方法を練り直し学習カードに記入します。

また、チームの作戦に貢献した友だちをMVPとして推薦し合い、称えることで、一人一人の意欲やチーム意識を高めていました。自信のない子に良かったところを伝え、自信を持たせているところも見られました。

授業研究会では、先生方が6班に分かれて班別協議を行いました。体育授業観察チェックリストにある「教師の相互作用」「学習環境」「意欲的学習」「授業の勢い」「効果的学習」の5項目についての話し合いが活発に行われました。全体発表後は、吾妻教育事務所の市村 武文指導主事より、「児童の運動量が豊富で、生き生きと楽しそうに活動していた。普段の教育活動全般の指導が子どもたちの姿に表れていた。」「個人の特長をもとにチームを知り作戦を考えたり、作戦の例示をもとにチームにあった作戦を取り入れたりなど、作戦を立てる過程で話し合い、学び合う力は今後ますます重要になる。」など、実践に向けた御指導をいただきました。この度の公開授業及び研究会は、私たちのよりよい体育授業の実践につながる大変貴重な機会となりました。授業を公開してくださった黒岩先生をはじめ、研究会開催に御尽力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 高山村立高山小学校 関 幹彦)